



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

ニュース in とくしま

NEWS IN TOKUSHIMA

Vol.38

2018.12

発行 日本赤十字社徳島県支部
〒770-0044
徳島市庄町三丁目12番地1
TEL: 088-631-6000
FAX: 088-631-6100



倉敷市で活動する当支部救護員

列島を相次ぎ襲つた自然災害 ～今、私たちにできること～

今年、日本列島は初夏から秋口にかけて、思わず多くの自然災害に襲われました。大阪北部を震源とする地震に始まり、西日本を襲つた7月豪雨災害、そして9月には台風21号、24号、北海道胆振東部地震が発災しました。台風24号では、本県で最大19万人に避難勧告が出されるなど、まさに災害列島日本であることを改めて思い知らされました。

死者224名と、大きな爪痕を残した7月豪雨災害では、日本赤十字社DMAT（災害派遣医療チーム）を愛媛県宇和島市に、12日には特に被害の大きかつた岡山県倉敷市へ医療救護班2班を相次いで派遣。各4日間にわたり避難所に設置された仮設診療所の運営や衛生調査など、こころのケアを念頭に置いた救護活動に取り組みました。数ヶ月を経た現在でも、仮設住宅での生活を余儀なくされ、将来の見通せない不安な日々を、多くの人々が送っています。

南海トラフ地震などの大規模災害の発生が危惧される中、当支部ではその対策として、災害時に全国から本県に駆けつける医療救護班の参集拠点となる「災害救護サポートセンター」を4月に開所しました。また、地区・分区においては災害用移動炊飯器や災害時活動用テントの配備を進めるとともに、「防災セミナー」の開催や青少年赤十字防災教育プログラムの普及にも取り組んでいます。

あなたに聞きます。「地震・津波・豪雨などの自然災害への備えは大丈夫ですか?」「家具の置き方、工夫していますか?」「食料・飲料などの備蓄、大丈夫ですか?」「避難場所や避難経路、確認していますか?」

災害時には、避難所での生活を余儀なくされる場合があります。救助や物資の到着には時間がかかるので、すぐに持ち出せる非常用袋に貴重品、ラジオや食料等を予め準備しておきましょう。⇒外部からの助けは3日間来ないと考えて、備蓄品の食料等は3日分用意しておくと良いでしょう。この機会に、チェックシートを作成し、準備しておきましょう!



非常用袋・備蓄品を準備していますか?

災害時には、避難所での生活を余儀なくされる場合があります。救助や物資の到着には時間がかかるので、すぐに持ち出せる非常用袋に貴重品、ラジオや食料等を予め準備しておきましょう。⇒外部からの助けは3日間来ないと考えて、備蓄品の食料等は3日分用意しておくと良いでしょう。

この機会に、チェックシートを作成し、準備しておきましょう!

皆様から義援金が寄せられました。
平成30年7月豪雨災害義援金

(平成30年9月末現在)

日本赤十字社受付分 200億226万201円
うち徳島県支部 3749万736円

皆様から寄せられた義援金は、被災地の義援金配分委員会を通じて“全額”被災された方々に届けられます。



被災地の様子（倉敷市）



未来のリーダーを育成!

赤十字支援団体「徳島県赤十字有功会」から、青少年赤十字（JRC）リーダーシップ・トレーニング・センター（通称「トレセン」）に参加したJRCメンバーへTシャツが贈呈されました。



Tシャツを手渡す西宮 映二会長（左）と参加メンバー（右）

「トレセン」は、JRCメンバーが赤十字の基本原則や国際人道法への理解を深め、人道的な価値観を身につけるとともに、集団生活の中でリーダーシップを学ぶ、夏休みに開催されるプログラムです。

7月24日に、当支部で行われたTシャツ贈呈式では、西宮映二会長が「世界の平和と福祉に貢献できる人間に成長されることを期待しております。」とJRCメンバーへTシャツを手渡しました。

今年度は、JRC加盟校15校から36名のメンバーが参加。（小学校の部は台風21号の影響で中止となりました。）

各校種ごとに救急法講習や炊き出し訓練、「まもるいのちひろめるぼうさい」を活用した「災害時シミュレーション」や、「避難所運営ゲーム（HUG）」など特色あるプログラムを実施。

Tシャツを着たメンバーの真剣な顔が見られました。

一緒に学びませんか？ 「健康寿命」を伸ばすコツ

日本の高齢化率世界一

平成28年の日本の高齢化率（65才以上が総人口に占める割合）は、27.3%と世界一です。その中で、徳島県では30.9%（平成27年）全国5位となっており、今後も上昇すると予想されています。（総務省人口推計より）

健康寿命：自分のことが自分でできる期間

健康寿命とは、日常生活を支障なく送ることができる期間のことです。
平成28年、男性72.1歳、女性は74.7歳でした。
(厚生労働省健康日本21より)

赤十字健康生活支援講習会

健康は全ての人の願いです。特に高齢になるとほど、健康の大切さを痛感し、可能な限り元気で自立した生活を送りたいと願っています。

この講習会では、健康寿命を延ばすための健康増進の知識や、高齢者の自立に向けた介護を実技を通して学ぶことができます。

[内容]

- ・高齢者に多い病気・事故
- ・健康な高齢者を目指して
- ・日常生活における介護
- ・癒しのハンドケア

知識・技術はもちろんのこと、歌ったり、運動したり、楽しく学ぶことができます。ぜひ、ご活用下さい。

更なる地域の防災力向上へ ～赤十字地区・分区にテントを配備～

昨年、当支部は創立130周年を迎えました。その記念事業の一環として、管内各地区分区への災害時活動用テントの配備を進めており、現在35張配備しています。

これは、災害時はもとより平時ににおいても炊き出し訓練をはじめ地域の様々な行事に活用することで、「地域の助け合い」「防災力」の向上を目的としています。テントは持ち運ぶことができるように折りたたみ式で、横幅が6m、縦に3m、高さは5段階の調整が可能。

各地区分区での、贈呈・引き渡し式には、地区・分区長（市町村長）をはじめ、地域の奉仕団員の方々などが出席し、テントの設営体験を行われました。

災害時活動用テント贈呈式



テントの贈呈



訓練時に設置した災害時活動用テント

はじめよう！
あなたが気軽にできること。



キヨエイ鮎喰店



稻次整形外科病院

「赤十字チャリティボックス」をご存知ですか？当支部では、誰でも気軽に赤十字活動へご協力いただけるよう、お店や病院に赤十字チャリティボックスの設置を進めています。毎日の生活から少しづつ、いのちを守る赤十字活動にご協力ください。

あなたがな優しい気持ちが
たくさん届いています！

『大変な思いを知って』

福祉体験で、車いすに乗ってみたり、目かくしをした友達のサポートをして、助け合う気持ちに気付きました。

小学4年生 Yさん

『はじめての寄付』

私は、まだ中学校に入学したばかりなので、年によって寄付額が変わるとと思いますが、できるだけ皆さんのがんばります。

中学1年生 Sさん

広がっていく、
「救いたい」という想い。



結成！徳島県赤十字救護救援奉仕団

赤十字の救護活動をサポート



倉敷市災害対策本部で救護班として打ち合わせに参加する河野会長（左端）

6月30日、徳島県支部に団員数45名からなる「徳島県赤十字救護救援奉仕団」が誕生しました。この奉仕団は、これまでの防災救護奉仕団や個人防災ボランティアを改編し、新たに組織したものです。

赤十字の災害ボランティアは、日本赤十字社の実施する災害救護活動を第一線で担うボランティアで、その活動は災害時における救護物資の搬送や義援金受付など多岐にわたり、平時には赤十字が行う防災活動や行事への参加など、日本赤十字社の活動を支える重要な柱でもあります。

設立総会で代表に選出された河野光明会長が、「団員の皆さんと力を合わせ、赤十字の救護活動をサポートしたい。」と力強く決意を述べられました。



救護救援奉仕団設立総会の様子

河野会長が、赤十字の救護活動をサポートしたいと決意を述べました。その後、河野会長は、赤十字の活動を支える重要な柱でもあります。

設立総会で代表に選出された河野光明会長が、「団員の皆さんと力を合わせ、赤十字の救護活動をサポートしたい。」と力強く決意を述べられました。

河野会長が、赤十字の救護活動をサポートしたいと決意を述べました。その後、河野会長は、赤十字の活動を支える重要な柱でもあります。

河野会長が、赤十字の救護活動をサポートしたいと決意を述べました。その後、河野会長は、赤十字の活動を支える重要な柱でもあります。

河野会長が、赤十字の救護活動をサポートしたいと決意を述べました。その後、河野会長は、赤十字の活動を支える重要な柱でもあります。

河野会長が、赤十字の救護活動をサポートしたいと決意を述べました。その後、河野会長は、赤十字の活動を支える重要な柱でもあります。



処置後の経過観察を行うベッドは38床

日帰り手術センター開設

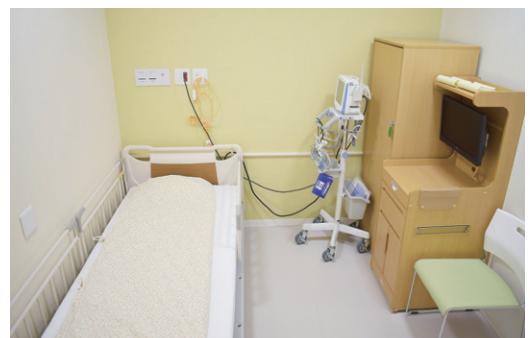
少ない負担で安心・安全

徳島赤十字病院では、これまで短期間の入院で行っていた心臓病のカテーテル検査や治療、軽症の外科手術、内視鏡検査・処置後の経過観察を外来で安全に行うため、2017年11月、西棟3階に日帰り手術センターを新規開設しました。

日帰り手術（短期滞在型手術）とは、手術を受けた当日、または一泊し翌日退院できる手術で、短期間での社会復帰を希望する方におすすめです。センター内にはベッドが38床あり、そのうち個室は5床となっています。

各ベッドには、無料視聴できるテレビや、BGMを聴きながら手術準備を行える環境が整い、リラックスした状態で手術を受けていただくことができます。

また、内視鏡検査では、大腸ポリベクトミーや粘膜切除術を受けたあと、帰宅までの時間をセンター内のベッドで過ごしていました。



個室は5床あり、テレビも完備



応神のコミュニティーセンターで上演する語り部ボランティア

赤十字人道紙芝居「ばんどうのコスモス」もなく150回を迎えます。この紙芝居は、平成26年10月に徳島県赤十字奉仕団等の協力のもと、当支部で作成したもので、第一次世界大戦時（1914年～1918年）、板東（現在の鳴門市大麻町）に作られたドイツ兵俘虜の収容所を舞台とした物語です。

同年11月には、次代を担う子どもたちに読み聞かせ、伝えることで「人を思いやる心」を育てる目的とした語り部ボランティアを養成。県内の学校や地域の赤十字奉仕団の研修会、県外からの赤十字支援団体の研修旅行等で演じています。

これまで37回の上演を行った語り部ボランティアの矢野壽美子さんは、「人道紙芝居をとおして子どもたちや県外からのお客様に、板東俘虜収容所の奇跡を紹介できることに生きがいを感じています。これからも多くの方に赤十字の精神を語り継いでいきたいです。」と話しています。

日本赤十字社徳島県支部では、赤十字人道紙芝居「ばんどうのコスモス」の上演依頼をお待ちしています。

あなたも語り部ボランティアの一員になりませんか？



人間を救うのは、人間だ。

日本赤十字社 スローガン

ラブラッド会員特典

- ①ポイントが貯まる!
- ②検査結果の通知が早い!
- ③献血予約ができる!

入会はコチラ!

Webサイトをリニューアルしました

**ラブラッド会員
大募集!**

Wow!





**シティハウジング
株式会社様
第9回 献血活動**



平成30年8月22日(水)「シティハウジングCITY plus 徳島沖浜店」にてシティハウジング株式会社様ご協力のもと献血バス3台を配車しての移動採血を行いました。当日は、シティハウジングスタッフの方はもちろん、ボランティアの方や関連企業様、取引企業様にいたるまで、総勢172名の方に献血していただきました。徳島県赤十字血液センターでは、献血活動にご協力いただける企業を募集しております。

**7月は
「愛の血液助け合い運動」**

COOL!



接近が予想されていた台風25号を吹き飛ばすほどの盛り上がりを見せた徳島県が全国に誇るアニメイベント「マチ★アソビVol.21」。(平成30年10月6日~8日)

献血もイベントの一つとして定着しており、県内外から多くの方が献血会場にお越しいただきました。

献血会場には、「はたらく細胞」の人気キャラ「赤血球」「血小板」に扮したコスプレイヤーの方や、「自宅警備隊N.E.E.T.(ニート)」の隊員の姿も。献血終了後には、写真撮影や呼び込みにご協力いただき、会場を盛り上げていただきました。

**親子で楽しく
けんけつ教室**



「見て」「聞いて」「触って」血液の働きの仕組みを親子で学ぶ「親子でたのしくけんけつ教室2018」を開催しました。(平成30年7月16日・22日 1日2回 計4回開催)

参加した親子は、血液の働きを学習した後、普段見ることのできない輸血用血液や献血バスの見学などを行いました。

参加した児童からは、「大きくなったら献血してみたい。」「家に帰ってから、自由研究のテーマになります。」などの頼もしい声が聞かれ、献血の将来を担う子ども達に献血啓発につながる結果となりました。

**中国四国学生統一
キャンペーン**



平成30年7月15日(日)「学生献血推進ボランティア」が主体となり、「夏の献血キャンペーン」を実施しました。

自分たちで趣向を凝らし作成した看板を持って献血の呼びかけを行い、イベント当日には、66名の方に献血していただきました。

SMILE!

**Facebook
更新中**



日本赤十字社では、
献血サポーターを募集しています。

HEY

徳島県赤十字血液センター

検索



登録や参加団体一覧はHPから → <http://www.ken-sapo.jp/>

<https://www.bs.jrc.jp/csk/tokushima/index.html>

<日本赤十字社徳島県支部管内の赤十字施設をご案内します。>

・日本赤十字社徳島県支部事務局
・徳島赤十字ひのみね総合療育センター
・徳島赤十字障がい者支援施設ひのみね

徳島市庄町3丁目12-1 TEL:088-631-6000
・徳島赤十字乳児院
小松島市中田町新開4-1 TEL:0885-32-0903
・徳島赤十字病院
同上 TEL: 同上
・徳島県赤十字血液センター

小松島市中田町新開2-2 TEL:0885-32-0555
小松島市小松島町字井利ノロ103 TEL:0885-32-2555
徳島市庄町3丁目12-1 TEL:088-631-3200